

■具体的な対策

《展示前の対策》

- 展示の企画にあたって、密集を回避する方策や密な状況が発生させない工夫を検討してください。
例えば、作品と作品の間の距離をとる、導線を工夫する等
- 来場者が多数になることが見込まれる展示については、大阪府において示される対応に基づいて実施の可否及び実施する際の感染予防措置について対応を検討してください。
- 特に高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる展示については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。
- 関係者が出品できない場合に備えた準備をしておいてください。
例えば、目録の変更、修正 等

《展示場での対策》

(1)搬入・搬出時

- 必ずマスク着用の上、必要な最小限度の人数としてください。
- 各自検温を行うこととし、体調不良や、発熱がある場合には自宅待機にするようにしてください。さらに、発熱の他に、下記の症状に該当する場合も、自宅待機を促してください。
咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、
目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- 手洗い、消毒を徹底してください。
- 作業は、安全のため軍手等を使ってください。
- 控室でも、マスクの着用・ソーシャルディスタンスを徹底してください。
- 換気や、複数の人が使用する備品や工具など、適宜消毒を行ってください。
- 来場者の3密を回避するよう、展示の配置などを工夫してください。作品と作品の間の距離をとる、導線を工夫する等。
- 直接手で触れることができる展示物は、感染リスクが高くなるため、原則、展示はお控えください。もし、展示する場合は、主催者が管理を行い、消毒を徹底してください。
- 展示台や机、いすなど、使用した備品は、片付ける前に消毒をしてください。
- 主催者の関係者に、感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに

協力し、必要な情報提供を行ってください。その際、関係者名簿が必要になりますので、作成しておいてください。また、「いつ、誰が、搬入、搬出のために展示場に入場したか」を把握してください。

(2)展示の期間中

- 展示場内はもとより、控室内においてもマスク着用・ソーシャルディスタンスを徹底してください。
- その他、上記の搬入・搬出時の防止策のとおり、主催者の関係者の安全確保に努めてください。

《展示の本番当日の対策》

(1)開場前

- 展示場外で、入場待ちの列が発生する場合は、前後の人との距離を確保してください。また、他の館利用者の迷惑にならないよう、列は少人数としてください。

(2)受付・来場者への対応

- マスク着用の来場者を入場させてください。
- 来場者に検温を実施し、万一来場者に備え、氏名と連絡先の情報を記入してもらってください。また、大阪府の「コロナ追跡システム」の利用を促してください。
- 消毒液の使用後に、展示場に入ってもらってください。
- 目録、チラシ、アンケート等は、極力、手渡しによる配布は避け、机の上に置いて、来場者にご案内してください。
- 体調のすぐれない方には、鑑賞の自粛をお願いしてください。
- 場内が密になる前に、入場者数の制限をするようにしてください。
- パネルなどを設置する場合は、手に触れないように注意喚起をしてください。
- 会場内の換気のため、正面入口扉の他、搬入口の扉を開けてください。
- 来場者には、展示物には手に触れないよう周知するとともに、複数の人の手が触れる箇所や物(机、いす、ドアノブ、ペンなどの備品)は、適宜消毒をお願いします。
- 来場者同士が、大声で会話する場面があれば、控えていただくよう声かけをしてください。